

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童・放課後等デイサービス くわがたむし		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 6日		～ 令和 8年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 6日		～ 令和 8年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士が多く療育や支援に取り組んでいる。	児童の様子や状況を共有できる時間を作っている。	個別支援計画に基づく支援の充実を図っていく。
2	小さなスモールステップを意識しての療育。	小さなできた、小さな関心、小さな気づきを共有出来るようにしている。	個別支援計画の目標に繋げて支援を具体的に考えて行けるようにしていく。
3	児童と一緒に遊びながら療育を行っていく。	児童との視線を合わせ、指導ではなく本人に気づかせていく支援を提供出来るように取り組んでいる。	児童の特性理解や環境理解を深めながら本人の困り感に気づいていけるよう考慮していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援員の減少	支援員の増員	3月より増員予定。安定した運営ができるよう支援員同士のコミュニケーションも深めていく。
2	中学生3：小学生7の割合。年齢差があり一緒に楽しめる活動等が少ない。	3人からの少人数から少しずつ人数を増やして楽しめるよう配慮していく。	繰り返し楽しむことでルールの理解を深め一緒に遊べる児童が増えるよう配慮していく。
3	支援員の経験年数3年未満多い。	集団支援や特性支援については経験が少なくその都度対応に苦慮することがある。	引き続き支援員同士で支援の成功例や課題等を共有し、全員で取り組んでいけるよう支援会議を定期的に行っていく。